

教科ごとの出来合いの問いと答えを勉強する教育

すべての児童に「自由の相互承認」の態度を育むことを土台に、自由に生きるための力を育む教育

「主体的・対話的で深い学び」

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

自力解決や協働解決の素地が育っている

理由をつけて自分の考えを表現できる。

*自由の相互承認 私たちが生きたいように生きるために、お互いに自由な存在であると認め合うこと

「主体的な学び」とは 学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次へつなげる学び ~まずは、目的意識・課題意識を高める~

「対話的な学び」とは 子ども同士の協働、教職員や地域の人の対話、先哲の考え方を手掛かりに考える等を通じ、自己の考えを広げ深める学び ~まずは、自分の考えを書く、伝える機会を~

「深い学び」とは 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見い出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることに向かう学び ~まずは、〇〇と〇〇を関係づけたり、対比させて考えたりすることを認める~

Table with columns for subjects (国語, 書写, 算数, 生活, 音楽, 図画工作, 体育, 特別の教科道徳, 学級活動, 学校行事) and months (4月 to 3月). It details lesson plans, activities, and learning objectives for each subject and month.